

# 自由民主党噶矢会 行政視察

令和元年 5月 21 日～22 日

佐賀県鳥栖市

スポーツを通じたまちづくり  
について

福岡市

ボートレース福岡の経営につ  
いて

X6.1.  
「スポーツを通じてまちづくりについて」鳥栖市

令和元年 5月21日

自由民主党鳴矢会 古谷幸男

鳥栖スタジアムは鳥栖市が単独で建設して施設であり用地費30.8億円建設費69.5億円でH8年に完成した。

物流での状況はあつたが物が集まつても人は集まらない。

- 人を集めると、この観点でスタートしたこと、  
トランクモモ改修専用の駐技場であり佐賀県内  
最大の規模を誇っている。

鳥栖駅から徒歩3分車も鳥栖インターフェイス約15分  
という立地条件にも恵まれている。

- 当時市単独で建設されたとの報道で結構  
記憶している。

一方 H11年にチームワガン鳥栖のTACスタジアムにということで飛躍して、特別で  
丁度に位置してことは現在まで参画には  
大きな展開である。

現在ネーミングライセン契約で駅前不動産  
ホールディングスが命名権を取得している。  
3年で1億とのことであり大きな野望  
がついている。

ヨリーグに在籍して、サンタモニカの危機にありながら市を含め市民やファンが「死で支援して」として現在は丁度昇格し活躍している。目的目標でもある「力を集める」というまちづくりに対する大きく貢献できていると思える。

また、以前指定管理であって不見返し3000万円以上かかる、かかっている多額の道管で約1ヶ月で管理できているとのこと。

行政が大きく変わリスタッフへの信頼や維持、改修などと計画しまたまちづくりに大きな貢献を取組んでいる姿勢はお絶頂へとありである。

さて、当時から結構注目して、とか當時の英選手を決意して真西市長はじめ大くり

関係者に敬意を表して、

現在モードの真西市長はじめ関係者の一生懸命の取り組みは将来的にも大きな成果をもつていくであろう。

No.1

「福岡競艇の経営について」 福岡市  
令和元年 5月23日  
自由民主党鳴矢会  
古谷 章男

経営についてはまほ安定的に推移している  
と思う。

一般会計への繰取金もH30年度で20億円  
とつなっている。建設以来 約2831億円と  
なっている。文教施設への整備事業へ47%  
道路橋りょう等整備事業へ14%など  
市歳入へ大きく貢献している。

2019年度においてもF1ボートレースオーレスター  
(墨川道)で完工目標を91億円見込んでおり  
観客はまさにそのF1レースの2日目である  
八代重紀の歌謡ショーも見て大いに盛り  
上がりを直接感じた。多分F1レースの  
完工目標は達成するであろう  
施設改修もH元年に作られて東スタンド  
を改修することとなることである  
計画は約30億円かけて全面改修との

ここでありますように花火の展示をするよう  
計画をしてます。

子供ルームもかなり多く日曜日には約100名  
程度利用者があるとのことです。

午前中に見学して時も平日にかかれます。10名  
余り利用者がいて、ファン層もかなりやたら多く  
なってます。また芝生アリ場もありそこには  
座合もててていて、コサーや無料貸出して  
その日10組あまりが寝そべって楽しんで  
います。

毎年5Gレースもありファレ獲得のために  
様々な取り組みを行なわれます。

口々もいい雰囲気であります。

今後も期待できるレース場である。

日時 令和元年 5月 21 日

佐賀県鳥栖市

視察項目

スポーツを通じたまちづくりについて

鳥栖市は佐賀県の東端に位置し、北は脊振山地を隔てて福岡平野、南は筑後川をはさんで久留米市に隣接。東西 8.2 km、南北 9.0 km、面積 71.72 km<sup>2</sup>、人口約 73,000 人の市である。

J リーグ、サガン鳥栖のホームスタジアムである鳥栖スタジアムは、鳥栖市が整備した施設で、鳥栖市役所健康福祉みらい部 スポーツ振興課が施設内

○ 務所で直接管理運営をしている。鳥栖スタジアムは JR 鳥栖駅構内にあった鳥栖機関区及び操車場跡地に建設し、平成 8 年 6 月にオープンし球技専用スタジアムで、鳥栖駅から徒歩 3 分、鳥栖 IC から 15 分の位置にある。以前は指定管理で運営していたが、年間 3 千万円の経費が半額でできることなどから、平成 21 年から市直営に変えている。物流拠点の街から、人が集まる街を目指して取り組んできた鳥栖スタジアムの運営は、一時厳しい状況に追い込まれたこともあったが、市民の理解、応援の下、J1 へ昇格したサガン鳥栖の活躍も相まって、現在では経済効果が 17 億円にもなっている。福岡市が新幹線え 10 数分、高速で 40 分との立地が集客には大いにプラスになっている反面、宿泊等は福岡市にというマイナス面もある。J1 のチームが市にあるという事は市民の宝、誇りでもあり、なによりシティプロモーションとしての効果は絶大である。

日時 令和元年 5月 21 日～22 日

5月 22 日 福岡市 視察項目 福岡競艇の経営について

福岡競艇場は昭和 28 年 8 月 13 日設置され、収容人員 15,182 人、客席数 3,980 席  
駐車場は 2,161 台、施行者は福岡市が年間 166 日、福岡都市圏広域行政事業組合が  
24 日開催している。この広域行政事業組合は福岡市周辺の 17 市町で構成されてい  
て、収益金を福岡都市圏の共同事業に活用している。交通アクセスは福岡市の中心  
天神、西鉄天神駅及び地下鉄天神駅から徒歩 15 分と好立地にあり身近なレジャー  
スポットとして親しまれスタンドからは博多ポートタワー、博多湾の船も眺めるこ  
とができる。今年度の売上見込みは主催レースが 41,533 百万円、場外 20,234  
百万円で、主催の区分売り上げは、場内 8,216、外向 117、電話 17,996、場外 15,204  
となっていて一般会計への操出金は 20 億円を見込んでいて、開設以来約 2,831 億円  
を繰り入れている。視察当日も開催 2 日目の SG ボートレースオールスター（笹川  
賞）期間中で、昨年 64 年振りに開催した徳山が SG 2 回なのに、福岡は 25 回も開  
催していて、平成になってからは今回をいれて 16 回も開催している。ちなみに SG  
レースは計 359 回で一番が住之江の 71、次いで平和島 40、福岡 25 となっている。  
ソフト面ではインフォメーションに揃いのユニホーム姿の女性を配したサービスを  
展開して、年会費 20 万円もするメンバーズルームや芝生広場（レース水面が見える）  
等、徳山とはかなり差があると感じた。徳山も頑張ってはいるが、まだまだ見習う点  
が多くファンサービスについて見直すべき点がかなりあるのではないかと思う。

視察報告書 令和元年5月21日 尾崎隆則

鳥栖市 鳥栖スタジアム スポーツ振興課

## 概要

鳥栖スタジアムは、平成8年6月、JR 鳥栖駅構内にあった鳥栖機関区及び鳥栖操車場跡地に敷地面積36,118m<sup>2</sup>の鳥栖市が建設整備された施設で、市の健康福祉みらい部・スポーツ振興課が施設内の事務所で直接管理運営をしている。

Jリーグサガン鳥栖のホームスタジアムで、トラックをもたない球技場としては、佐賀県内最大の規模で鳥栖駅から徒歩で3分と立地条件に恵まれている。

2階・3階全席個別席で、27度・40度の勾配があり、屋根に覆われていることから、雨や昼間のゲーム観戦も楽しめる。

照明器具も342個あり、屋根と一体型となっている。

平成25年度から26年度にかけ、トイレ棟の増築・トイレの様式化・大型ビジョンの改修・芝生の前面張替え等の改修工事を実施し、平成30年度から31年度にかけ、ふるさと納税による、スタジアムの鉄骨及び外壁の塗装改修工事で、リニューアルを目指して

いる。

収容人員は、約2万5千人であるが、最多観客動員数は平成26年7月の対川崎フロンターレ戦の2万3,277人。その他にもJ1昇格決定直後の平成23年12月の「ロアッソ熊本」・ロンドンオリンピックアジア地区最終予選の「U-22日本対マレーシア代表戦」で、約2万3千人の観衆を集めている。

経済効果は約17億円。芝生スタジアム内では結婚式の記念撮影にも使用されている。

### 所感

プロが行うサッカースタジアムは初めての視察であったが、芝生の美しさに感銘した。視察時に明日の試合の準備をしていたが、直営で管理・運営されていることも驚きであった。レノファ山口の拠点、維新公園とはうんぜんの差で、こういう施設での試合では選手もやる気があるので当然だと思った。

周南市でも一番人気のサッカー少年達の夢を叶えられるスポーツ振興に力を入れる施策が必要だとつくづく思った。

視察報告書 令和元年5月22日 尾崎隆則

福岡市 福岡競艇の経営について

概要

施工者 = 福岡市 福岡都市圏広域行政事業組合

設置年月日 = 昭和28年8月13日

総敷地面積 = 90, 497 m<sup>2</sup>

収容人員 = 15, 182人

駐車場 = 2, 161台

発売窓口 = 235窓 (キャッシュレス 114台)

外向発売所 (ペラボート福岡)

年間を通して、ほぼ毎日舟券を発売 (特にナイターレース) できる場所を整備し、仕事帰りのサラリーマンやOLなど新たなお客様を開拓することで、売り上げの向上を図っている。

昭和28年～平成30年までの一般会計への繰出金は、2, 831億円 (主に教育・建設・河川・こども育成・港湾・環境) の整備徳山ボートも施設改善からかなりの若者が増えてきたが、大型レースの開催誘致に努力してほしいと感じている。

# 自由民主党噶矢会行政視察報告書 吉安 新太

令和元年 5月 21 日 佐賀県鳥栖市

視察項目「スポーツを通じたまちづくりについて」

- ・鳥栖市は、物流が盛んな街であり、「物」は集まるが、「人」が集まらないという課題を抱えていた。
- ・そこで、起爆剤として、鳥栖市は、佐賀県はもとより、近隣の市にも頼ることなく、平成8年に鳥栖駅すぐ側の国鉄ヤード跡地に、鳥栖市単独支出のもと、2万5千人収容可能な、サッカースタジアムが建設された。
- ・建設費は約100億円で、その内30億円が土地代、残り70億円がスタジアム建設費である。
- ・建設費の運営も、メインスポンサーの「サイゲームス」を始め、数々の企業の協力と、鳥栖市7万人の市税を持って黒字経営が続いている。
- ・「市」にプロスポーツ球団があることで、経済的効果は勿論、社会的効果も大きいと感じられた。市民の球団愛が地元愛に

繋がり、子供のスポーツへの意識向上が健全育成に繋がり、

「市」単位が全国的な知名度を得ることなどがあげられる。

- ・ここ「周南市」には、全国有数のコンビナート群がある。

年間計上利益が、1000億円を超える大企業が数社ある。

周南市としては、箱物の建設ラッシュにより、財政はひっぱく

しているので、当然スタジアム建設の余裕はない。

- ・そこで「周南市」と、巨大スポンサーである「コンビナート企業」がタッグを組み、県内唯一のプロチームである「レノファ山口」が試合を出来る規格のスタジアムを建設出来たならば、サッカーに限らず、イベントやライブ。人が集まる核となる場所となるであろう。そんな、ことを思い描くことができた視察となりました。

令和元年 5月 22日 福岡県福岡市

視察項目「福岡競艇の経営について」

- ・今回はSGレース期間中ということもあり、観客人数もかなり大勢おられました。
- ・私どもは、開催2日目に伺いました。  
開催初日の累計売上高は、約19億円だったそうです。  
もの凄い経済効果だと感じました。
- ・まずは、館内を案内していただき、芝生エリア、カフェエリア、屋外飲食ブースなど、魅力的な空間が広がっていました。
- ・6レース前には、八代亜紀さんによる、華やかなステージが行われました。これほどの大スターを間近で、しかも無料で見れることは、そうそうないことであり、それを出来ることは福岡競艇の集客力によるものだと感じました。
- ・徳山競艇でも積極的にSGレースの、誘致活動をして、より多くの人に「周南市」に来ていただくように、取り組みたいと感じました。